

令和7年2月19日(水)
大崎タイムス掲載



化学物質の健康 障害や対策学ぶ

数万種に上る化学物

質の安全な取り扱いを

学ぶ「特定化学物質作

業主任者能力向上教

育」(宮城労働基準協

会古川支部主催)が14

日、大崎市の古川商工

定と評価、作業管理、

作業環境の測

定と評価、作業管理、

作業環境の測

定と評価、作業管理、

作業環境の測

会議所で開かれた。特
定化学物質を扱う10社
12人が健康障害や対策

を学んだ。
適切な健康障害防止

対策を講ずること、低
減する化学物質ばく露
濃度を例示。「リスク

レベルによっては防毒
マスクが必要になる。

使用する前にマスクの
漏れがないかチェック

してほしい」などと呼
び掛けた。

健康管理、災害事例と
防止対策について紹介
した写真。

適切な健康障害防止

対策を講ずること、低
減する化学物質ばく露
濃度を例示。「リスク

レベルによっては防毒
マスクが必要になる。

使用する前にマスクの
漏れがないかチェック

してほしい」などと呼
び掛けた。

適切な健康障害防止

労働安全衛生法の規
定で、事業者は作業主
任者に対しおおむね5

年ごとに規則改正など
の知識の周知が義務付
けられている。また、

機械設備と原材料、作
業方法に変更があった

場合などは能力向上教
育を行うよう求められ
ている。

適切な健康障害防止

適切な健康障害防止

対策を講ずること、低
減する化学物質ばく露
濃度を例示。「リスク

レベルによっては防毒
マスクが必要になる。

使用する前にマスクの
漏れがないかチェック

してほしい」などと呼
び掛けた。